

令和2年度 データヘルス計画 中間評価シート 大野町

(令和2年10月現在)

データの範囲	活用データ	データヘルス計画・全体評価				個別保健事業評価																														
		評価指標	計画策定時データ (平成28年度)	中間評価年度 (令和1年度)		事業名	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	目標値	ベースライン (建前上でない目標値)	経年変化	指標判定	事業判定	うまくいった・うまくいかなかった理由		見直しと改善の案																					
市町村全体の状態	KDB 「地域の全体像の把握」	人口構成	人口総数(人)	23,649	23,428	特定健康 診査受診 動奨事業	特定健診受診率 (実績値・法定報告値・速報値)						対象者		【今後の事業計画】 継続 追加・修正・(事業拡大・縮小) 中止																					
			～39歳(%)	44.4	40.7			受診勧奨数・率									時期		【どうするか案】																	
		40～64歳(%)	34.0	33.5	平均余命		男性		80.4	81.0	方法		実施回数・量																							
		65～74歳(%)	11.4	14.2			女性	84.3	85.4	連携体制・予 算・人員				事業として 気づいたこと																						
		75歳～(%)	10.2	11.6	平均自立期間(要介護2以上)		男性	78.9	79.6																											
	女性	81.6	82.2	平均余命と平均自立期間の差	男性		1.5	1.4																												
	女性	2.7	3.2	高齢化率			21.6	25.8																												
	DKDB 「課題」 「保健・医療の健康」	出生率(人口千対)	6.6	6.6	特定保健 指導		特定保健指導利用率 (実績値・法定報告値・速報値)						対象者		【今後の事業計画】 継続 追加・修正・(事業拡大・縮小) 中止																					
		死亡率(人口千対)	9.0	9.2				特定保健指導終了率 (実績値・法定報告値・速報値)									時期		【どうするか案】																	
		被保険者構成	被保険者数(人)	5,667					5,046	メタボ該当者の割合 (実績値・法定報告値・速報値)										方法																
～39歳(%)		24.2	22.4	メタボ予備群の割合 (実績値・法定報告値・速報値)										実施回数・量																						
40～64歳(%)		30.6	28.2			BMI、腹囲有所見者割合の 変化															連携体制・予 算・人員															
65～74歳(%)	45.2	49.4	医療機関受診率									事業として 気づいたこと																								
被保険者加入率(%)	24.0	21.5			血液検査等のデータの変化								対象者																							
被保険者平均年齢(歳)	53.1	54.3					新規人工透析患者数								時期																					
総医療費(円)	1,731,207,880	1,820,148,380		人工透析患者数										方法																						
1人当たり医療費(円)	309,034	364,467				医療費に占める人工透析医 療費の割合										実施回数・量																				
総医療費に占める生活習慣病費用割合	58.1	59.1	糖尿病等 重症化予 防					健診受診率	60.00%	40%	H28 38.4% H29 36.9% H30 36.6% R1 34.9%	△					×	対象者	△	【今後の事業計画】 継続 追加・修正・(事業拡大・縮小) 中止																
被保険者に占める生活習慣病患者割合	46.1	49			保健指導利用率								H28 12.3% H29 5.8% H30 11.7% R1 30.5%						△			×	時期	×	【どうするか案】 生活習慣病予防のために、運動習慣を身につけることは大切なことなので、特定保健指導の一環として運動教室は継続し、運動習慣の獲得を目指す。また、町のシンボルスポーツであるノルディック・ウォーキングを啓発する。											
特定健診受診率(法定報告値)	38.4	36.8					教室の参加者数		20名	H30 5人 R1 12人※ ※実際の参加					△									×		方法	×	実施回数・量	△							
メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告値)	16.1	17.2		アンケートによる意識の変化					向上					H30 100% R1 100%													△		×	実施回数・量	△	連携体制・予 算・人員	△			
メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告値)	10.6	10.6				体の変化(体重・腹囲・BMI)			改善							H30 6割改善															△		×	事業として 気づいたこと	△	運動委託事業者とは定期的に連携を計れたが、人数が少なく、令和2年度から委託事業として予算はとれなかった
特定保健指導利用率(法定報告値)	12.3	31.8	運動習慣なしの人の減少					40%以下	H28男62.2% H28女68.6% R1男65.0% R1女69.8%		△	×					事業として 気づいたこと	△		運動教室から特定保健指導に結びつけることができると考えたが、反応は薄かった。対象者は運動の必要性を理解できていないのか、運動したくても時間がないのかなどニーズを把握する必要あり。まずは個別保健指導で栄養・運動の必要性を話し、その上で教室等を紹介するべきだと感じた。																
特定保健指導終了率(実施率)(法定報告値)	8.2	22.7																																		
大野町国保の平成28年度から令和1年度の変化	<p>大野町の人口は減少、出生率は変わらず、死亡率は増加している。人口構成は、若年・壮年等働き盛り世代が減少し、前期高齢・後期高齢者が増加している。平均余命は、男女とも伸びているが、平均自立期間の差では、女性は差が広がっている。</p> <p>大野町の国保被保険者数は減少し、被保険者構成では、若年が減少し高齢者が増加している。</p> <p>総医療費は増加、一人あたり医療費も増加している。総医療費に占める生活習慣病の割合も被保険者に占める生活習慣病割合も増加している。</p> <p>受診率は低下し、メタボリックシンドローム該当者の割合は増、予備群者の割合は横ばいである。</p> <p>特定保健指導利用率は、平成30年度まで下がっていたが、少しずつ増加している。</p>																																			
国保の状態	DKDB 「地域の全体像の把握」	岐阜県(市町村国保)における医療費・疾病・特定健診の状況		被保険者構成	被保険者数(人)		5,667	5,046		糖尿病等 重症化予 防			医療機関受診率									対象者		【今後の事業計画】 継続 追加・修正・(事業拡大・縮小) 中止												
～39歳(%)				24.2	22.4	血液検査等のデータの変化										時期																				
40～64歳(%)			30.6	28.2	新規人工透析患者数							方法																								
65～74歳(%)			45.2	49.4			人工透析患者数								実施回数・量																					
被保険者加入率(%)			24.0	21.5				医療費に占める人工透析医 療費の割合										連携体制・予 算・人員																		
被保険者平均年齢(歳)			53.1	54.3					健診受診率		60.00%			40%			H28 38.4% H29 36.9% H30 36.6% R1 34.9%		△	×	対象者		△													
総医療費(円)			1,731,207,880	1,820,148,380							保健指導利用率															H28 12.3% H29 5.8% H30 11.7% R1 30.5%	△	×	時期	×						
1人当たり医療費(円)	309,034	364,467	教室の参加者数	20名						H30 5人 R1 12人※ ※実際の参加			△	×								方法	×													
総医療費に占める生活習慣病費用割合	58.1	59.1		アンケートによる意識の変化		向上										H30 100% R1 100%							△	×	実施回数・量					△						
被保険者に占める生活習慣病患者割合	46.1	49			体の変化(体重・腹囲・BMI)	改善						H30 6割改善																		△	×	事業として 気づいたこと	△			
特定健診受診率(法定報告値)	38.4	36.8				運動習慣なしの人の減少	40%以下								H28男62.2% H28女68.6% R1男65.0% R1女69.8%																			△	×	事業として 気づいたこと
メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告値)	16.1	17.2																																		
メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告値)	10.6	10.6																																		
特定保健指導利用率(法定報告値)	12.3	31.8																																		
特定保健指導終了率(実施率)(法定報告値)	8.2	22.7																																		
大野町国保の平成28年度から令和1年度の変化	<p>大野町の人口は減少、出生率は変わらず、死亡率は増加している。人口構成は、若年・壮年等働き盛り世代が減少し、前期高齢・後期高齢者が増加している。平均余命は、男女とも伸びているが、平均自立期間の差では、女性は差が広がっている。</p> <p>大野町の国保被保険者数は減少し、被保険者構成では、若年が減少し高齢者が増加している。</p> <p>総医療費は増加、一人あたり医療費も増加している。総医療費に占める生活習慣病の割合も被保険者に占める生活習慣病割合も増加している。</p> <p>受診率は低下し、メタボリックシンドローム該当者の割合は増、予備群者の割合は横ばいである。</p> <p>特定保健指導利用率は、平成30年度まで下がっていたが、少しずつ増加している。</p>																																			
国保の状態	DKDB 「地域の全体像の把握」	岐阜県(市町村国保)における医療費・疾病・特定健診の状況	被保険者構成	被保険者数(人)	5,667		5,046	糖尿病等 重症化予 防	医療機関受診率					対象者			【今後の事業計画】 継続 追加・修正・(事業拡大・縮小) 中止																			
～39歳(%)			24.2	22.4	血液検査等のデータの変化							時期																								
40～64歳(%)			30.6	28.2		新規人工透析患者数									方法																					
65～74歳(%)			45.2	49.4			人工透析患者数												実施回数・量																	
被保険者加入率(%)			24.0	21.5						医療費に占める人工透析医 療費の割合											連携体制・予 算・人員															
被保険者平均年齢(歳)			53.1	54.3							健診受診率		60.00%			40%				H28 38.4% H29 36.9% H30 36.6% R1 34.9%		△	×	対象者	△											
総医療費(円)			1,731,207,880	1,820,148,380									保健指導利用率													H28 12.3% H29 5.8% H30 11.7% R1 30.5%	△	×	時期	×						
1人当たり医療費(円)	309,034	364,467	教室の参加者数	20名				H30 5人 R1 12人※ ※実際の参加	△					×		方法	×																			
総医療費に占める生活習慣病費用割合	58.1	59.1		アンケートによる意識の変化	向上							H30 100% R1 100%					△	×							実施回数・量					△						
被保険者に占める生活習慣病患者割合	46.1	49			体の変化(体重・腹囲・BMI)	改善									H30 6割改善															△	×	事業として 気づいたこと	△			
特定健診受診率(法定報告値)	38.4	36.8				運動習慣なしの人の減少	40%以下												H28男62.2% H28女68.6% R1男65.0% R1女69.8%															△	×	事業として 気づいたこと
メタボリックシンドローム該当者の割合(法定報告値)	16.1	17.2																																		
メタボリックシンドローム予備群の割合(法定報告値)	10.6	10.6																																		
特定保健指導利用率(法定報告値)	12.3	31.8																																		
特定保健指導終了率(実施率)(法定報告値)	8.2	22.7																																		
大野町国保の平成28年度から令和1年度の変化	<p>大野町の人口は減少、出生率は変わらず、死亡率は増加している。人口構成は、若年・壮年等働き盛り世代が減少し、前期高齢・後期高齢者が増加している。平均余命は、男女とも伸びているが、平均自立期間の差では、女性は差が広がっている。</p> <p>大野町の国保被保険者数は減少し、被保険者構成では、若年が減少し高齢者が増加している。</p> <p>総医療費は増加、一人あたり医療費も増加している。総医療費に占める生活習慣病の割合も被保険者に占める生活習慣病割合も増加している。</p> <p>受診率は低下し、メタボリックシンドローム該当者の割合は増、予備群者の割合は横ばいである。</p> <p>特定保健指導利用率は、平成30年度まで下がっていたが、少しずつ増加している。</p>																																			

データヘルス計画の中間評価年における総合評価:計画の継続と修正、今後目指したいこと、方向性、この計画で行う仮説など

大野町のデータヘルス計画において、重点事業として、特定保健指導対象者がメタボリックシンドローム該当者・予備群から脱却できるという目的で、「ノルディック・ウォーキング中心の運動教室」を実施してきた。しかし、特定健診受診率や特定保健指導利用率が低下していること、一人あたりの医療費が上がっていることから、健診受診率、保健指導率の向上に重点を置かなければいけないと考えられる。そこで、運動教室に加え、未受診者勧奨も新規事業に加える。また、糖尿病性腎症重症化予防事業については、平成30年度から実施しており、保険者努力支援制度の対象事業となっており、今後はデータヘルス計画(後半)の新規事業として展開していく。

個別保健事業評価						
事業名	背景	目的	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	令和5年までの目標値	事業概要(具体的な実施内容)	
糖尿病性腎症重症化予防	糖尿病患者の増加に伴い、人工透析患者数が増加傾向にある中で、糖尿病性腎症重症化予防の取組が重要である。重症化予防の取組について各医療機関へ個別に説明を実施し、かかりつけ医との連絡票にて受診結果、保健指導報告等の情報を共有している。 また、西濃保健所主催の糖尿病対策地域ネットワーク会議において、医師会、糖尿病専門医等と取組内容を共有し、糖尿病対策の推進について議論をしている。	医療機関未受診者及び糖尿病治療中断者に対し、訪問を基本として受診勧奨を行い、面接時に受診予定時期を確認する。なお、受診が確認出来ない対象者には訪問等により再度受診勧奨を行う。	未受診者の受診勧奨実施率	100%	対象者	1) OGTT検査の勧奨 ①特定健診の結果、HbA1c6.0～6.4の者に対し、OGTT検査を特定健診受診医療機関より勧奨。 2) 糖尿病性腎症重症化予防 ①医療機関未受診者は、過去5年間の健診結果で、HbA1c6.5以上の者で、レセプトデータから未受診と思われる者。 ②糖尿病治療中断者は、過去5年間の健診結果で、HbA1c6.5以上の者のうち、直近1年間に健診受診歴やレセプトデータにおける糖尿病受診歴がない者。 ③ハイリスク者は、糖尿病治療中で、保険者による保健指導が必要とわかりつけ医が判断した者。
			未受診者の医療機関受診率	50%		
			糖尿病治療中断者の受診勧奨実施率	100%	時期	特定健診終了後に対象者を抽出し、事業を実施。
			糖尿病治療中断者の医療機関受診率	50%		
糖尿病の保健指導実施率	80%	方法	医療機関未受診者(レセプト確認済)には、文書にて、治療中断者には訪問にて受診勧奨し、医療機関からの受診連絡票やレセプトにて受診を確認する。未受診者へは、再度電話や訪問で受診勧奨を実施する。また、OGTT検査勧奨事業では、医師からの連絡票にて保健指導が必要とされた方に対し、面談や訪問等で保健指導を実施する。重症化予防事業では、受診後の医師からの連絡票にて保健指導が必要とされた方に対し面談や訪問にて保健指導を実施する。			
新規透析患者の減少	前年より減					
健診受診者の高血糖者の割合の減少 (HbA1c6.7以上)	前年より減	実施回数・量	特定健診結果より抽出し、随時受診勧奨を実施。未受			
		その他 (連携体制・予算・人員など)	国保と衛生で連携。必要時、医師会やかかりつけ医と連携する。国保でデータを提供し、受診勧奨や保健指導は衛生で実施する。			

新規

個別保健事業評価						
事業名	背景	目的	評価指標 (アウトカム・アウトプット)	令和5年までの目標値	事業概要(具体的な実施内容)	
特定健康診査受診勧奨事業	当町の特定健診受診率は、平成20年度の施行から10年が経過し、減少傾向。目標(市町村国保加入者に係る特定健康診査の実施率60%以上)には全く届いておらず、効果的な未受診者勧奨が必要である。 令和2年度より交付金を申請して未受診者勧奨を実施、令和4年度より情報提供事業を実施予定。	特定健診の受診率が年々低下する中、効率的な未受診者への受診勧奨をすることで、受診率向上につなげる	特定健診受診率 (法定報告値)	40%	対象者	過去に1度も健診を受けたことがない者と過去3年以内に受診したが、今年受けていない者
			受診勧奨者の受診率	送付者の10%		
					時期	令和2年10月～12月(未受診者を把握次第、勧奨)
		方法	特定健診(例年は2ヶ月間)終了後に、未受診者を把握する。その後、町にて階層化し、未受診者に受診勧奨ハガキを送付する。健診期間終了後、受診率を確認する。			
				実施回数・量	受診勧奨はハガキにて1回 総数1500	
		その他 (連携体制・予算・人員など)	国保から受診者のデータを衛生に提供。衛生が階層化し、未受診者の抽出をし、発送する。予算は国保で確保。			

新規